

競技上の注意(個人戦)

審判長:八百野 真人

<ルールについて>

- 1 現行の日本卓球ルールを適用する。
- 2 タイムアウト制を採用する。ただし、1マッチに1回、1分以内を厳守すること。
- 3 公認のユニフォームを着用し、2022年度登録の日本卓球協会ゼッケンを着用する。
- 4 新型コロナウイルス感染症対策として、本大会は次の事項を設ける。
 - (1) ベンチのアドバイザーはダブルス16決定、シングルス32決定から入ることができる。
 - (2) 試合前後の握手などの身体を接触させる挨拶は行わない。
 - (3) チェンジエンドは行う。
 - (4) 複数コートของボールの混在を避ける。
(ボールが競技領域外に出た場合、選手自身で拾いに行き、他コートの選手等が拾わない。)
 - (5) 大会中に大きな声で会話、応援等をしない。
 - (6) 競技中以外はマスクを必ず着用し、ソーシャルディスタンスを保つ。

<進行について(別紙1・2)>

- 1 タイムテーブルをもとに、ベンチコール方式によって進行する。
(あくまでも試合予定時刻の目安である。また、当該コートでの実施とは限らないため、放送に注意。)
- 2 1日目の第1試合の審判は別紙記載の選手が行う。以降は、敗者審判による。
- 3 男子ダブルス・シングルス4回戦以降ならびに女子ダブルス2回戦以降、女子シングルス3回戦以降の敗者は進行席にて順次、県大会出場登録を行う。
- 4 1日目は男女Wすべてと男女S2回戦まで(進行によっては3回戦も行います)の試合を行う。2日目は残り全ての試合を実施予定とする。

<県大会決定戦>

男子ダブルス(20 枠)

3回戦負後→県大会決定戦へ

第1ステージ 32→16(全 16 試合)

勝者は決定、敗者は第2ステージへ

第2ステージ 16→8(全 8 試合)

勝者は第3ステージへ、敗者は終了

第3ステージ 8→4(全 4 試合)

勝者は決定、敗者は終了

男子シングルス(4 4 枠)

3回戦負後→県大会決定戦へ

第1ステージ 64→32(全 32 試合)

勝者は決定、敗者は第2ステージへ

第2ステージ 32→16(全 16 試合)

勝者は第3ステージへ、敗者は終了

第3ステージ 16→8(全 8 試合)

勝者は決定、敗者は第4ステージへ

第4ステージ 8→4(全 4 試合)

勝者は決定、敗者は終了

<県大会について>

- 1 日程 令和4年2月4日(土)~5日(日)
- 2 場所 府中 TTC
- 3 出場者数 男子 W52名、女子 W32名
男子 S108名、女子 S64名
- 4 県大会への出場権を獲得したチームの代表者は、派遣依頼を本部にて受領すること。